

2012年近畿アグリハイテク・講演会

# 最新住民活動にみる 地域づくりのポイント

～あのひとが面白い、あのまちが面白い・「ろーかるでざいんのおと」～

江戸川大学社会学部現代社会学科 教授 鈴木 輝隆 氏

これからの日本は厳しい現実に長期にわたって立ち向かっていかねばならない。若い人たちや子育て世代の女性の迫力ある活動、世代を超えた高齢者と若者の連携の活動も増えている。高齢者だけの過疎地域など条件不利地域では、コミュニティのためにもう一働きしたいという元気な高齢者の存在も、大いに若者を励ましている。結果をすぐに求めず、日々惰性を許さずやるべきことを続けていけば、だんだん上り調子になる。厳しい課題や悩みを解決する活動のなかにこそ、深い感動が生まれる。これまで人類は逆境に恵まれ挑戦することで進化してきた。日本が元気になる可能性は、地域の条件や環境の厳しいところから生まれ、型にはまった不自由な発想や活動ではなく、現場に適応した柔軟で楽しい取り組みを紹介したい。

■日 時： 2012年6月12日(火) 15:00～17:00

■場 所： メルパルク京都 会議室D

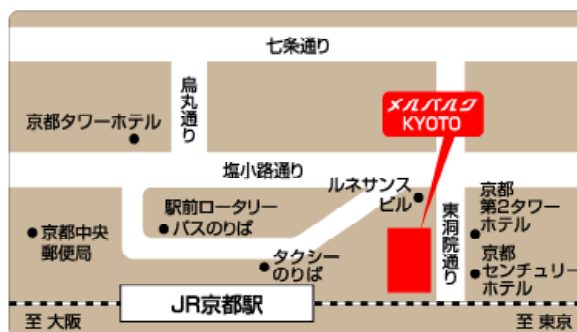
京都市下京区東洞院通七条下ル

東塩小路町676-13

(TEL075-352-7444)

■参加費： 無料

■主 催： NPO法人近畿アグリハイテク  
農林水産省



## 講師プロフィール

鈴木 輝隆 氏

「住民自治と情報力から地域経営を实践する」が研究テーマで、現場を歩くことから地域に生きる知恵者のネットワークを構築している。全国各地の地域づくりに関わるだけでなく、地域の自立には歴史や伝統を軸に、美意識のある「ローカルデザイン」が必要と考え、東京で毎月1回、学生と社会人と共に学ぶ「ローカルデザイン研究会」(現在、第96回)を主宰している。今年8月8日から9月2日まで、これまで関わったローカルデザインの展示を中心に、銀座松屋デパートで「ミツバチ鈴木展」が開催される。

社会活動として、国土交通省「国土審議会政策部会」「国土審議会半島振興対策部会」の特別委員をはじめ、「地域づくりネットワーク形成調査研究会」座長、林野庁「安心・快適な高尾山」の森林利用協働モデル事業検討委員会委員など、内閣府、総務省、農林水産省、経済産業省等の委員会の委員を歴任。富山県「元気とやま協働戦略検討会議」委員、長野県飯山市「飯山まちづくりデザイン会議」委員長、財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団「住まいとコミュニティづくり活動助成事業」選考委員会委員長など務める。

主な著書に、「中山間地域のあり方に関する研究Ⅱ」(共著)総合研究開発機構、「環境市民とまちづくり・地域共生編」(共著)株式会社、*「ろーかるでざいんのおと」*(田舎意匠帳)(単著)全国林業改良普及協会など。

問い合わせ・申込先

NPO法人近畿アグリハイテク

〒606-0805 京都市左京区下鴨森本町15 (財)生産開発科学研究所内

TEL/FAX 075-711-1248 e-mail:office@kinkiagri.or.jp

申込み

参加をご希望される方は、6月8日(金)までに、お名前・ご連絡先等を記入の上、  
郵送、ファックスまたはメールで上記事務局宛お送り下さい。

なお、講演会終了後同じフロアで交流会を予定しております。

参加を希望される方は、下の用紙申込用紙の所定の欄に印をつけて事前に申し込んで下さい。

(会費(¥5,000)は当日、会場受付で頂戴いたします)

ふりがな お名前	ご連絡先 (TEL:FAX)	所属(団体名)又は 住所(市町村名まで結構です)	懇親会に参加 (○をつけて下さい)
			する しない
			する しない
			する しない
			する しない
			する しない
			する しない
			する しない
			する しない

※お申し込みに係る個人情報につきましては、本講演会以外では使用いたしません。